

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	サポートセンター空さんく		公表日		2026年 3月 19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容によっては生活介護部門のスペースも利用できる。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	利用状況に応じて生活介護の職員もサポートに入れる。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	事業所内に段差はなく、身長に合わせた机や椅子も用意している。スケジュールも視覚的に確認しやすいよう配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	朝夕の拭き掃除、消毒によって、清潔な環境を保っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個室もあるので、ST等個別活動時に使用したり、体調不良や気持ち落ち着かない時の静養場所として利用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	活動や支援への取り組みについて、日々職員間で協議し、よりよい方法を模索している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	いただいた評価を真摯に受け取れ、サービスの質の向上に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の打ち合わせや振り返り、職員会議等を通して、認識の共有、改善を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	いただいた評価を真摯に受け取れ、サービスの質の向上に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部研修や法人内研修を受講し、スキルアップを図っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	法人ホームページにて公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	日々の関わりや面談を通して、ニーズや課題、強みを把握し、個々に合わせた計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援計画作成のためのケース会議の他、日々の打ち合わせの中で共通理解を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	ケース会議を通して職員間で共有し、日々の支援を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	支援計画で設定した項目を中心に、行動面やADL面等を記録し、情報共有や支援の向上を図っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	子ども家庭庁のガイドラインに基づき、個々に合わせた計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	企画立案、進行、評価をチームで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	マンネリ化を防ぐため、活動内容を充実させている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個々のニーズや課題、強みに合わせた計画を基に個別活動や集団活動を設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	1日の流れや利用状況を共有して支援にあたっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日のスケジュールや利用者の状況を振り返りながら支援記録にまとめて共有し、以降の支援に反映させている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	その日のスケジュールや利用者の状況を振り返りながら支援記録にまとめて共有し、以降の支援に反映させている。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングの他、日々の状況の変化に合わせて、必要に応じた見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	ガイドラインを基に支援計画を作成している。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	活動内容を提示した上で、参加の有無を選ぶことができる。また、言葉でのコミュニケーションが難しい場合に合わせた絵カード等のツールも準備している。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	主に管理者や児童発達支援管理責任者が参加している。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	サポートセンター空として、いつでも、行政や学校、併用している事業所等と連携して支援を行う用意がある。		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	市町村ごとのアプリを通して各学校の行事や下校時刻の確認を行っている。サポートセンター空としては、いつでも、必要に応じて学校と連携して支援を行う用意がある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	必要に応じて情報提供をいただき、スムーズな放デイサービスへの移行に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	必要に応じて学校や進路先との移行会議に参加し、スムーズな障害福祉サービスへの移行に努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	必要に応じて連携している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		地域の児童クラブとの交流の機会は作れていない。烏ヶ森公園を中心に、外出先で地域のお子さんとの交流を図っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		法人として参加をしているが、事業所としては積極的な参加はできていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時、連絡帳を中心に日々の様子を共有している。また、必要に応じて電話や面談を行い、各々の状況の把握や改善策を検討している。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		外部の研修会のお知らせを連絡帳ツールにて配信することはあるが、事業所主体での研修会は実施できていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に丁寧な説明を心がけており、問い合わせに適宜対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	日々の関わりや面談を通して、ニーズや課題、強みを把握し、個々に合わせた計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	モニタリングでの評価や計画策を基に支援計画を作成し、内容の説明と確認の上、同意を得て支援を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時、連絡帳を中心に日々の様子を共有している。また、必要に応じて電話や面談を行い、各々の状況の把握や改善策を検討、助言や訪問支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		父母の会がなく、親子行事の設定も難しい。事業所単体で実施するための時間、労力を確保できない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情解決委員会を設定し、契約時に説明、周知するとともに、誠意を持った対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	連絡帳アプリやホームページを活用し、行事や活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約書、重要事項説明書に記載の通り、個人情報の取扱いに留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	送迎時、連絡帳を中心に日々の様子を共有している。また、必要に応じて電話や面談を行い、各々の状況の把握や改善策を検討している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		烏ヶ森公園での戸外活動時に地域のお子さんとの交流は持つことができているが、事業所主体で地域との交流イベントの開催が困難。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルを策定し、定期的な訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	各マニュアルを策定し、定期的な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	利用開始時、年度ごとにアセスメントシート作成にご協力いただき、持病や服薬等の確認を行っている。また、必要に応じて情報共有をお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	利用開始時、年度ごとにアセスメントシート作成にご協力いただき、アレルギーの有無や対応について情報共有をお願いしている。医師の指示書の提出があれば、指示書に基づいた対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画の作成やリスクマネジメント研修、ヒヤリハット作成を通して、安全管理を意識した支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に安全対策や賠償等について、丁寧な説明を心がけており、問い合わせに適宜対応している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	大小問わずにヒヤリハットを作成、共有し、再発防止に向けて支援内容、業務内容を改善している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会による事業所内研修や外部研修を通しての対応の見直しやマニュアルの作成、必要に応じて県や市町村への報告、相談を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束についての研修を行い、やむを得ない状況の確認。必要場合は本人や保護者の説明、承諾を得て支援計画に記載し、都度記録を取る。また、医療的なケアであれば、医師の指示書の提出をお願いしている。		